

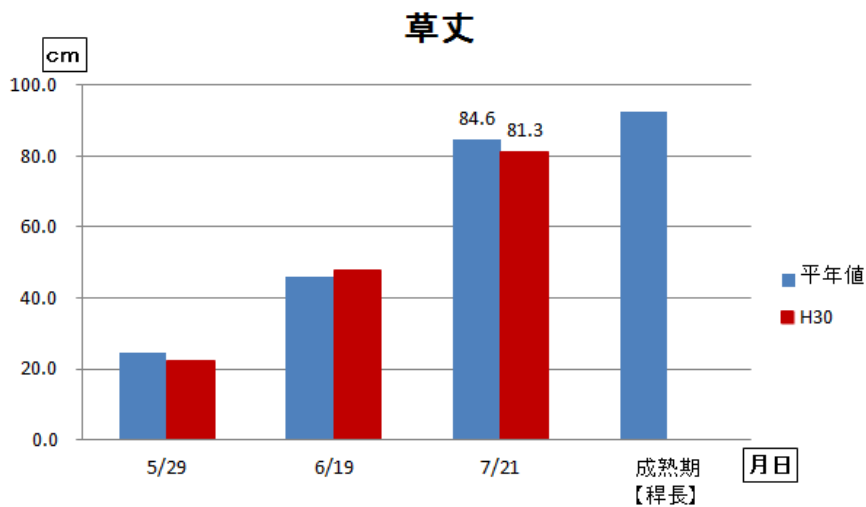
# 平成30年度 農作物（水稻）モニター事業調査結果

本県NOSA Iでは、水稻の生育状況を調査し、気象・病虫害発生状況などの基礎情報を継続的に観測して、県内水稻の作柄や被害発生状況の把握に務めています。

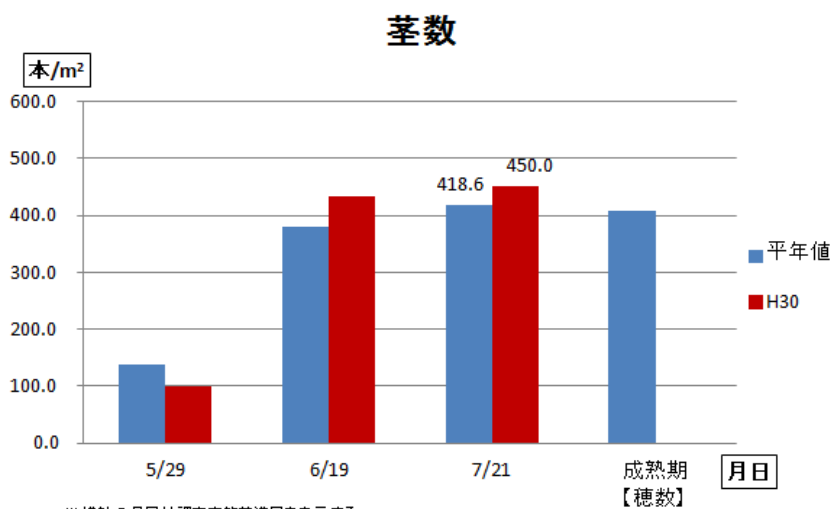
## 1. 水稻の生育および病虫害発生調査結果（第3回）

### 1) 水戸市の調査結果

調査場所	品種	移植日	調査日
水戸市	コシヒカリ	5月12日	7月20日

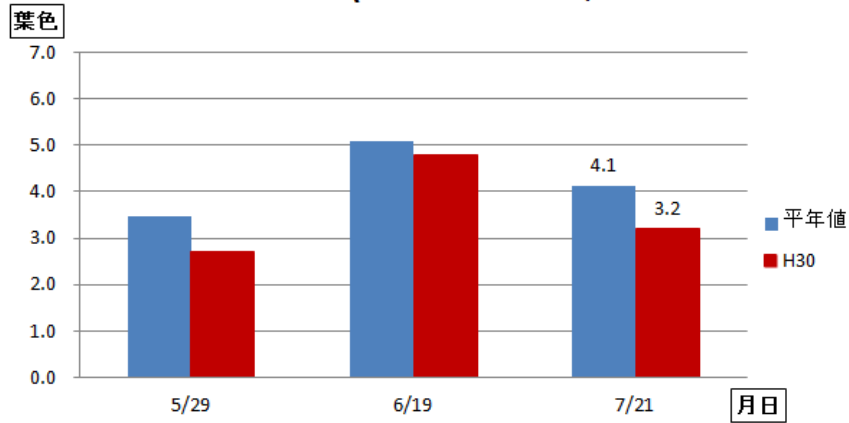


※ 横軸の月日は調査実施基準日を表示する。



※ 横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

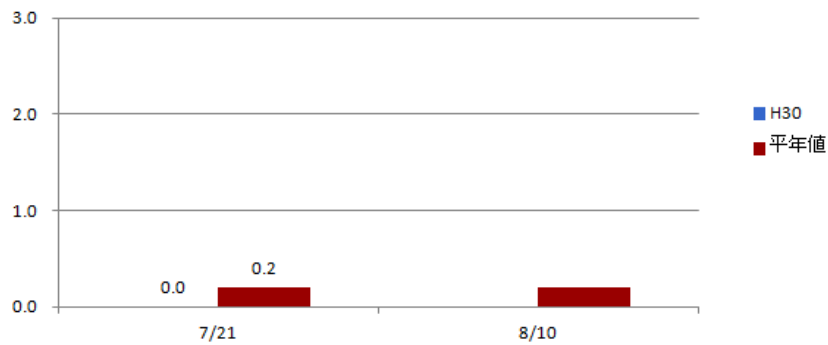
## 葉色(カラスケール)



※横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

## カメムシ類

(虫数)

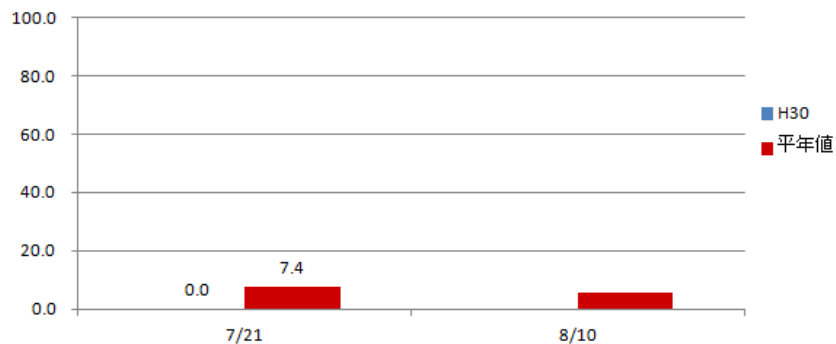


※横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

(月日)

## 葉いもち病

(発病度)



※横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

(月日)

○被害度は該当虫による葉の食害の度合い

○平年値は平成25～29年の5年間の平均値

○生育調査結果について

調査圃場の生育は、草丈、茎数は平年並、葉色は平年よりも淡くなっています。県内「コシヒカリ」の7月19日現在の傾向は、草丈は平年並～やや高く、茎数は概ね平年並、葉色は平年並～淡くなっています。

間断かんがいをを行い、根の活力維持に努めてください。特に出穂後は田面が乾く前に入水する間断かんがいを繰り返し、稲に水分ストレスがかからないように注意しましょう。

○病害虫発生調査結果について

調査圃場ではカメムシ類については、発生がみられていませんが、本田の観察をお願いします。本年はカメムシの発生時期は平年よりも早いと予測されています。今後の天候次第では、水田での虫数が急に増える可能性もありますので注意してください。

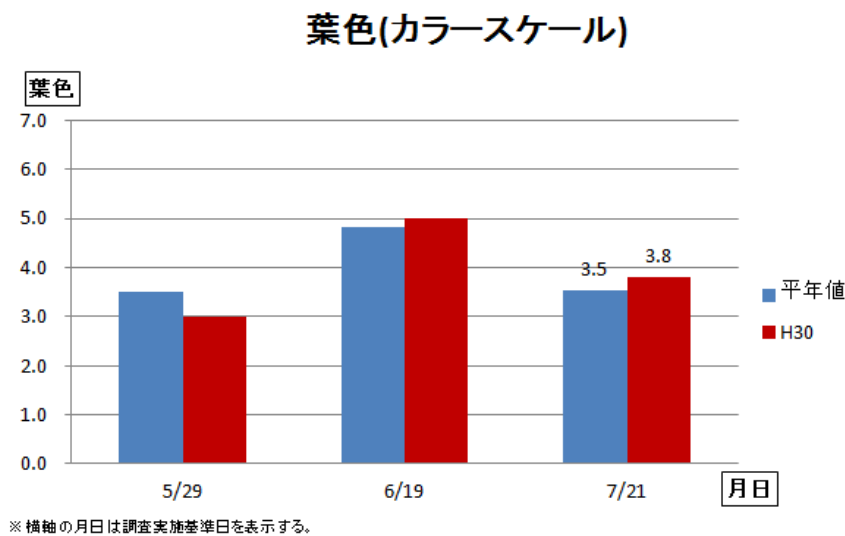
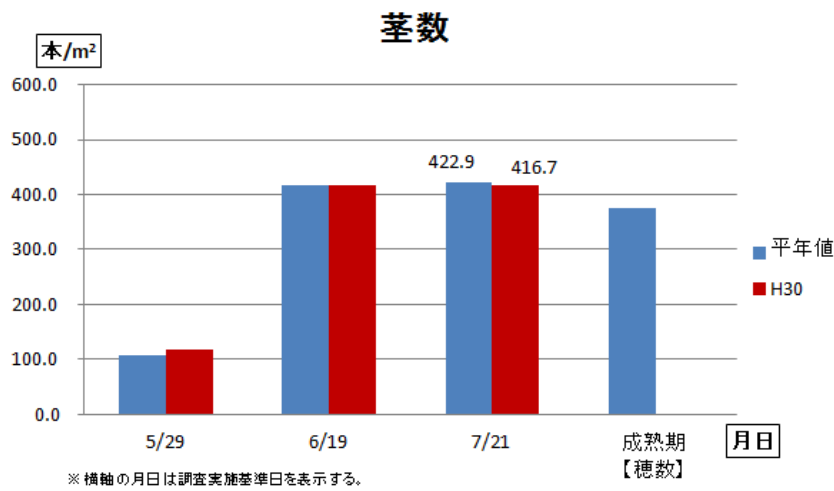
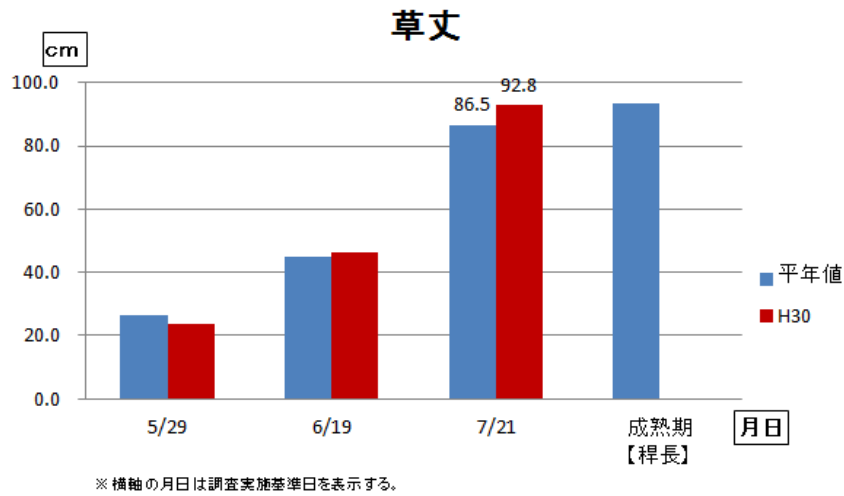
斑点米カメムシ類の耕種的防除として、畦畔のイネ科雑草が穂をつけないよう除草することが有効ですが、既に水稻の出穂間際になっていますので、水田内への追い込みを避けるため、除草作業は控えましょう。

穂揃前に成虫を確認した場合や出穂後10～15日頃に幼虫を確認した場合には防除を行ってください。

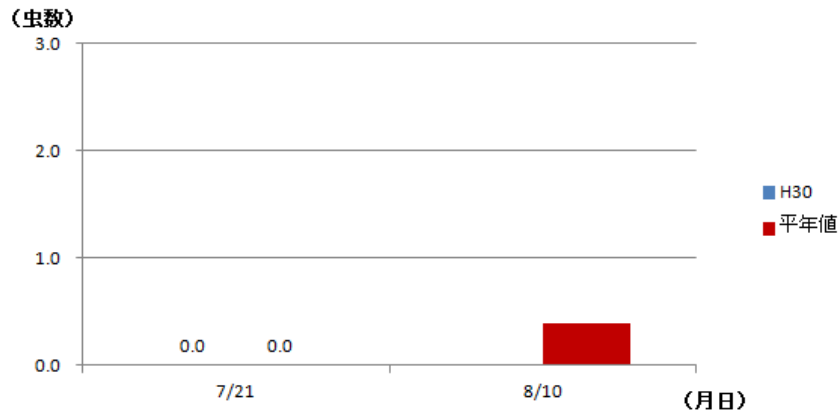
調査圃場において、葉いもちの発生が少程度みられています。県内の葉いもちの発生状況は平年並となっています。今後、いもち病の上位葉への進展がみられなければ問題ないと思われませんが、引き続き観察をお願いします。上位葉への進展が見られる場合は、直ちに防除を行ってください。

## 2) 茨城町の調査結果

調査場所	品種	移植日	調査日
茨城町	コシヒカリ	5月12日	7月20日

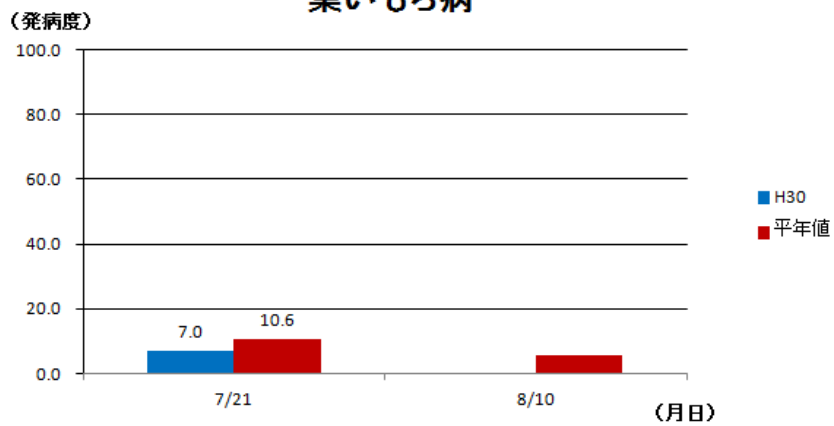


## カメムシ類



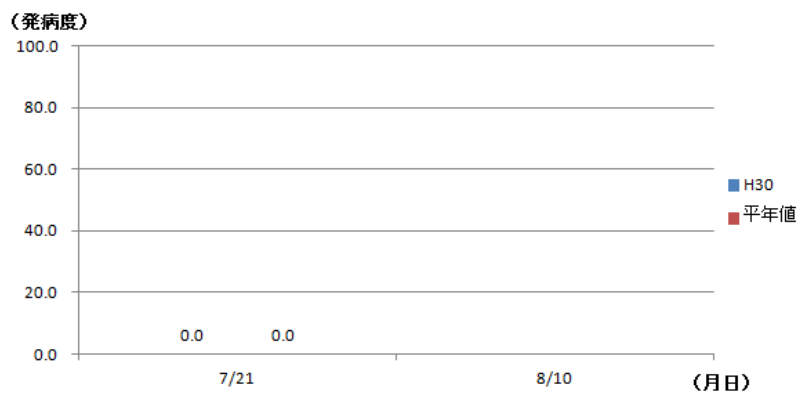
※横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

## 葉いもち病



※横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

## 紋枯病



※横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

○被害度は該当虫による葉の食害の度合い

○平年値は平成24～28年の5年間の平均値

○生育調査結果について

調査圃場の生育は、草丈は平年よりもやや高く、茎数および葉色は平年並となっています。県内「コシヒカリ」の7月19日現在の傾向は、草丈は平年並～やや高く、茎数は概ね平年並、葉色は平年並～淡くなっています。

間断かんがいを行い、根の活力維持に努めてください。特に出穂後は田面が乾く前に入水する間断かんがいを繰り返し、稲に水分ストレスがかからないように注意しましょう。

○病害虫発生調査結果について

カメムシ類については、発生がみられていませんが、本田の観察をお願いします。本年はカメムシの発生時期は平年よりも早いと予測されています。今後の天候次第では、水田での虫数が急に増える可能性もありますので注意してください。

斑点米カメムシ類の耕種的防除として、畦畔のイネ科雑草が穂をつけないよう除草することが有効ですが、既に水稻の出穂間際になっていますので、水田内への追い込みを避けるため、除草作業は控えましょう。

穂揃期に成虫を確認した場合や出穂後10～15日頃に幼虫を確認した場合には防除を行ってください。

県内の葉いもちの発生状況は平年並となっています。調査圃場において、葉いもちの発生が少程度みられています。今後、いもち病の上位葉への進展がみられなければ問題ないと思われませんが、引き続き観察をお願いします。上位葉への進展が見られる場合は、直ちに防除を行ってください。

2. 次回調査予定日

8月10日

茨城県農業共済組合連合会調べ  
協力：茨城県農業総合センター